

淀川水系流域委員会
木津川上流部会様

三重県伊賀市

中井 克二

意見書

川上ダム本体工事の早期着工により、伊賀地区を含む淀川水系への治水に貢献する日が一日も速い事を切望しています。

- ① S28.8.15 東近畿大水害以来、体験した洪水は五指にあまり、その悲惨極まる被害の連続から解放されたいと岩倉峡の開鑿を請願し続けたが容認されずに今日に至っている。
- ② 戦後になってから、社会資本の充実と恒常的な冠水・水没被害を少しでも緩和するためとして、河川敷の拡大と堤防の強化の目的で、木津川両岸沿いの農地を相次いで相当面積収用されて来た。
- ③ 岩倉峡で堰き止められた水の内、約 900 万 m³を湛水させるとして上野遊水地が計画され、木興地区では圃場整備されたばかりの農地の総て (70ha) を遊水地とすることに泣く泣く同意した。これは宅地を除いた総ての農地が対象であったのだから、その日まで「遊水地絶対反対」運動が継続されて来たのだった。
- ④ これだけの犠牲的な協力 (土地提供) が得られた理由として、下流域の冠水・浸水被害に悩まされている人たちへの人類愛と、上流に川上ダムが造成されて被害が軽減される事を信じたからです。

最後に

当事者間の信頼を無くしてしまつては、何事も成就しないと思われま

す。○ダムの代わりに新しい遊水地を作る一。

簡単に約束をホゴにされる実例を知った地権者が同意しますか？

○越流堤を高くしたら越流の頻度が減って地権者が喜ぶ一。

本川の水位が高くなって支流からの流入が妨げられ、遊水地以外の予期しない所で浸水・冠水の被害が続出するだろう…

○ダム用地は既に確保され、先祖伝来の土地家屋・墳墓まで移転して協力された方々の尊い善意に報いるためにも

当初、多数の地権者に約束した「川上ダム」と「遊水地」で、伊賀地域を含む淀川水系の被害を防止するためにも

「川上ダム本体工事の早期着工を希望します。」